



俳優 水野 真紀
(東宝芸能株式会社所属)

略歴
東京都出身。1987年、第2回「東宝シンデレラ」オーディションで審査員特別賞を受賞し、NHK朝の連続テレビ小説「凜凛と」でデビュー。その後多数のドラマ・映画・舞台で活躍する。2018年、聖心女子大学現代教養学部教育学科に編入。卒業と同時に幼稚園教諭一種免許を、卒業後に保育士資格を取得する。2023年、保育園などの運営を手がけるJPホールディングス社外取締役就任。司会を務めるグルメ情報番組、MBS「水野真紀の魔法のレストラン」は4月で25周年を迎える。

祖父母のふるさと大洗町

大洗町の皆様、こんにちは。東宝芸能株式会社所属している俳優・水野 真紀と申します。テレビドラマ、映画、バラエティー番組を中心に活動しております。

私の母方祖父母が大洗町の出身であることから、この度寄稿の機会を頂くこととなりました。祖父母との思い出、また同居する実母から聞いた話が中心となりますがお付き合い頂けると幸いです。

明治末の生まれの祖父の名字のルーツは福島ですが、大洗町で育ちました。ただ「これからは電気の時代」と希望を抱いて上京し、姉夫婦の家に居候しながら夜学に通ったそうです。97歳で亡くなりましたが、火葬後の骨が年齢の割には多く残りました。海岸育ちで魚をたくさん食べていたからかもしれません。

戦中、東京生まれの母は大買にある祖母の実家に身を寄せました。東京大空襲の夜、大洗町から東京方面の空が真っ赤に染まっているのが見えたという祖母の話が忘れられません。大洗町の海の幸、田畑の恵のお蔭で母は戦中戦後の食糧難から逃れることが出来ました。

母は町のキリスト教の幼稚園に通い、東京に戻ってからもたびたび大洗町を訪れ、従姉妹たちと海水浴を楽しみました。祖母のきょうだいが町に残っていたので、今も法事の度に電車で出向いております。

大洗にフェリーターミナルが出来たことを祖母が誇らしげに話していたことも印象的でした。茨城県初のアウトレットにアニメの聖地等、時代の流れが大洗町に注目してくれるのも嬉しい限りです。

昨夏、大洗町誕生70周年祝賀の海上花

火大会に伺いました。噂に聞いていた大洗の花火大会ですが、音楽や演出と一体になった花火は壮大なステージパフォーマンスを見ているかのよう。海を舞台にした会場ならではのスケール感も圧巻でした。

花火大会翌日、大洗町営墓地にある祖母のお墓に従叔父夫妻と参りました。前夜の熱気が嘘のような穏やかな朝。祖母は命が尽きたら都会の喧騒から離れ、両親が眠る故郷に戻りたかったのでしよう。生前に町営墓地にお墓を購入していました。

大好きだった祖父母が「居る」大洗町ですから、ふるさと納税を通して心ばかりではありますが寄付させて頂いております。私の大洗町への思いが町民の皆様のお幸せに少しでも関わっていたら大変嬉しく存じます。

「ソト」から見たおおあらいでは、皆様のご活躍の方々から大洗についての寄稿をいただきます。